

検査のパレット

今回は検査科で実施している精度管理についてお話ししたいと思います

精度管理とは、臨床検査において精密かつ正確な結果が報告できるように日々機器や検査操作を管理することです。精度管理には、「内部精度管理」と「外部精度管理」があります。

内部精度管理とは、正しい結果を出すために毎日管理血清を使って、機器・試薬をチェックし、「正確さ」についての点検を実施しています。これを内部精度管理といいます。

外部精度管理とは、施設内で精度が高くても、ほかのグループ（施設）から外れるデータでは本当の値を報告しているとは言えません。そこで、同じ試薬・同じ方法を使用した全国規模の施設と比較するのが必要不可欠となります。これを外部精度管理といいます。

当検査科が実施している外部精度管理の種類を下記にまとめてみました。

名称	主催	規模・内容	参加目的	回数
日本医師会臨床検査精度管理	日本医師会	国内 2,600 施設が参加：血液血算、凝固、生化学、血清、細菌同定、抗菌薬感受性	報告した検査成績が、点数で評価される。高得点が得られるように、一層の向上を目指している	年 1 回
日臨技臨床検査精度管理調査	日本臨床衛生検査技師会	国内 2,500 施設が参加：血液、生化学、血清、細菌、遺伝子検査	日常業務に密着した精度管理調査として定着しており、幅広い項目で実施している	年 1 回
広島県臨床検査精度管理調査	広島県医師会	県内 168 施設が参加：生化学、免疫、血液、輸血、フォトサーバイ、尿定性	「A、B、C、D」の 4 段階評価を実施している	年 1 回

又、検査科では、検体検査管理加算Ⅱを取得しており、入院患者一人につき月一回 100 点の加算を頂いています。この加算を得るためには上記のような精度管理を定期的に行う事や、臨床検査の適正化に関する委員会が設置されていること、等が条件とされています。

日々の努力により、平成 24 年 4 月に社団法人日本臨床衛生検査技師会から「臨床検査精度保証認証施設」として認定されました。又、昨年の広島県臨床検査精度管理調査において、「成績優秀施設」の表彰により盾を頂きました。これは、一定の認証基準をクリアした施設にだけ与えられるものであり、当検査部の検査データが、極めて高い信頼性があることを示すものです。今回、認定を受けましたが、これに奢ることなく、これからも新規検査の積極的な導入、患者サービスの向上などを目指して日常診療に貢献していき、地域医療のさらなる向上に寄与したいと考えております。今後とも検査室を宜しくお願い致します。